

たかくまだより

R8.7.20 第25号 高塚熊野神社



公式
インスタ



公式
HP



公式
X



ヤタカラ君

高塚南北子ども会共催 神様散えて

Q お賽銭はどうして するの？



今回は、ながの
あいちゃん(当時
小学4年生)から
の質問です。



お賽銭の「賽」の字には「お礼(報賽)」という意味があります。つまりお賽銭を納める主な理由は、日ごろのご守護やご利益に対する神さまへの感謝の気持ちを表すためです。古来、神さまには米や酒など「初穂(その年に最初に収穫されたもの)」をお供えしていました。やがて貨幣が普及すると、貨幣で納めるようになりました。これがお賽銭の始まりです。お賽銭には、「穢れを清める」という大事な役割があります。昔から「お金には人々の厄やケガレがつきやすい」と考えられてきました。厄がついたお金を手放し、神社という清らかな場所に投げ入れることで、身を清める意味があると言われています。

ちなみに、お寺のお賽銭はもともと「お礼」ではなく「お布施」です。仏教では、欲や執着(煩悩)を捨てる修行が「お布施」でした。現在の寺のお賽銭は、修行の意味は薄れたものの仏さまへの供物や寄付として行われています。

今月の ON AIR

FMHaro !
「たかくまだより」



第4 木曜 17:30~
第24 回放送

6月25日放送のFM Haro!「たかくまだより」は2人の巫女、大城みなみさんと4月入社の小畑うらゝさんが出演。前号に特集した「お木曳行事」への参加報告や「たかつか熊野夏祭り」の夏越大祓、茅の輪くぐり、神社の七夕の紹介などの話題に花が咲きました。



谷本尚穂アナとのスリーショット

「たかつか熊野夏祭り」の様子は裏面ににて報告しています。



A I によるイメージ画像

今月の魅力 ガマの穂、ご存じですか？



今年の「茅の輪」に「ガマの穂」を設えてみました。ガマは水辺に自生する大きな草で、ソーセージのような穂をつける、夏の風物詩です。日本神話「因幡の白ウサギ」には、ウソをついて傷つけら

れたウサギが、ガマの穂で体を癒やした話があります。ガマの穂は医療による再生(甦り)の象徴で、無病息災を祈る茅の輪にぴったりです。またガマの神話には、ウソはいけない、思いやりが大切という教訓があります。



トピックス 神社で田植えしました



6月初旬、神社では五穀豊穰を祈願して、戸塚昌宏宮司らにより田植えが行われました。収穫される稲は、11月の「秋季大祭・新嘗祭」で祭壇に供えられることになります。



来年咲くかな
アジサイ植えました
これまで彩りがなかった神社の東斜面に、地域の方のご奉仕によりアジサイが植えられました。来年の夏、花をつけてほしいです。

お知らせ 四季の祓の会 第53回 夏の会

混迷した現代を生きるための知恵を、我が国古来の「神道」を探究することで気づいてみませんか。



4月は仮殿にて開催されました

7月25日(土) 午後3時より。
会場 高塚熊野神社「仮殿」
内容「大祓詞」奉唱/神道講話
講師 宮司 戸塚昌宏
参加費無料、予約不要



姪姫さん 大募集

10月11日の例大祭に、
お神楽を奉納しませんか

1. 条件=高塚町在住もしくは町内出身のお子様(女の子)で、小中学生(高校生可)。
2. 定員=6~8名
3. 練習=9月から。回数未定。



社務所までお申し込みください。☎ 053-448-2288

「たかくまだより」のバックナンバーは、神社の公式ホームページやSNSから読みいただけます。

※裏面：特集記事「たかつか熊野夏祭り」メモリアル